

委員会報告

桜川市議会議員は、全議員がいずれかの常任委員会に所属し、それぞれ掲げたテーマについて審査しています。このページでは、その審査内容や各委員会の活動状況を報告します。

今号は 文教常任委員会に注目

私たちが
委員です



小高友徳委員長 古川静子副委員長 菊池節子委員 小林正紀委員 相田一良委員 潮田新正委員

文教常任委員会では、2つの所管（教育委員会・公民館活動）に属する事項を調査・審査します。

「学力向上と人間形成を養うこと」 ができる先生の配置を

児童・生徒の教育については、今後も学力の向上とあわせて、バランスのとれた人間形成を養うことができる教育力のある先生の配置を要望しました。



幼稚園バスの 送迎方法の検討

やまと幼稚園・まかべ幼稚園は送迎バスを利用していましたが、坂戸幼稚園は保護者が送迎をしています。経費節減を考慮しながら送迎方法を検討するよう要望しました。

歴史遺産の活用で 活気あるまちづくり

真壁地区において伝統的建造物群保存地区の指定に向けて推進を図っています。真壁の町並みや真壁城跡などの歴史遺産を活用するとともに、観光客への対応も含め、活気あるまちづくりを推進するよう要望しました。

温水プールの指定管理者 制度への移行

指定管理者制度に移行のめどが今年度中に立つよう要望しました。



真壁地区にはたくさんの歴史遺産が残されています

現地視察を行いました

【九月二日】
・北学校給食センター
・桜川中学校

歳入・歳出全般の 徹底的な見直しを要望

総務常任委員会

委員長 大塚秀喜
委員 増田 昇・橋本位知朗・鈴木好史・増田 豊

地方譲与税や地方消費税交付金等の各種交付金は、国の政策転換や経済環境の悪化等により、前年度に比べ大幅な減少となっており、今後、市の財政状況は一層厳しくなることが予想されます。

情報格差のない 環境整備

平成二十一年度、国の経済危機対策の一環として「地域情報通信基盤整備事業推進交付金事業」が実施されます。

この事業は、ブロードバンド未整備地域を解消するため、強力な財政的支援が受けられるもので、桜川市全域で情報格差のない環境整備に努めるよう要望しました。

監査機能の強化

市の監査委員制度は、代表監査委員と議会選出監査委員の二名

高齢者の要望に応じた 緊急通報システムを

福祉環境常任委員会

委員長 萩原 實 副委員長 風野和視
委員 林 悦子・横田 衛・川那子秀雄・高田重雄

ひとり暮らしの高齢者宅に設置されている緊急通報システムは、すべての要望に対応できていないのが現状です。

高齢者のインフル エンザ予防接種

真に必要としている実態の把握に努め、高齢者が地域で安心して暮らせるよう要望しました。

社会福祉施設の 稼働率の向上

社会福祉施設の管理においては、稼働率と効率性・利便性を高め、あわせて、市民のニーズにこたえられるよう要望しました。

筑西広域病院群 の輪番制

休日や夜間における救急医療を確保するた



転作奨励金減額の周知徹底を

建設経済常任委員会

委員長 中川泰幸 副委員長 岩見正純
委員 上野征一・塚本 明・仙波信綱・増田俊夫・皆川光吉

国からの産地確立交付金による転作奨励金の減額について、生産農家の理解が得られるよう、より一層の周知徹底を要望しました。

岩瀬東区周辺の 水害対策

中山間地域直接支払交付金が平成二十一年度で終了します。耕作放棄地の未然防止を考慮し、引き続き国及び県に対して事業継続を依頼するよう要望しました。

岩瀬の東区周辺は以前から大雨が降るたびに道路が冠水し、住宅が床下浸水になる状況です。一日も早く安心・安全な生活が送れるよう最善の対策を講じるよう要望しました。

耕作放棄地の 未然防止

中山間地域直接支払交付金が平成二十一年度で終了します。耕作放棄地の未然防止を考慮し、引き続き国及び県に対して事業継続を依頼するよう要望しました。

岩瀬駅前 の多目的スペース

現在行われている阿部田橋の工事は、児童・生徒等の通学路、歩行者の安全確保のための取付道路に限らず、この路線の道路計画を作

阿部田橋の工事

岩瀬駅前の多目的スペースは、まちづくり交付金事業により整備されました。イベントをはじめ各種事業を展開し、関係機関と連携を図りながら活性化に取り組むよう要望しました。